

## 精密触覚機能検査研修協議会の設立と 「精密触覚機能検査」にむけての資格認定講習会のご案内

口腔外科領域では下歯槽神経障害を含め口腔顔面の神経性疾患を日常的に取り扱い、診断や治療の評価のため感覚機能検査を実施しております。これら検査に対して、平成30年4月1日から「精密触覚機能検査」として保険収載となりました。しかしながら、これを保険請求するにあたりましては、施設での検査機器の装備に加え、厚労省通知保医発0305第3号にあります「口腔顔面領域の感覚検査及び三叉神経損傷の診断と治療法に関する研修を修了した歯科医師が1名以上配置されていること」の施設基準を満足する必要があります。そのため、本保険診療の早期普及と施設基準を満たす施設数の早期増大とをはかるべく、口腔顔面領域の感覚異常に対して以前より臨床的、学術的活動を行ってまいりました日本口腔顔面痛学会、日本口腔外科学会、日本口腔診断学会、日本歯科麻酔学会、日本歯科薬物療法学会、口腔顔面神経機能学会の6学会（以下、構成学会）からの代表者よりなる精密触覚機能検査研修協議会を設立し、資格認定となる研修会を開催させていただくことになりました。

本研修会への参加をもってのみ上記施設認定への申請が可能となりますが、実技などを含めた研修となり、指導者の確保など諸問題があるため、一度に多数の出席希望には対応できないのが現状です。そのため、日頃より感覚異常の診断治療を行っていただいている会員の皆様には、いましばらくご迷惑をおかけするかと存じますが、よろしくご理解をお願いいたします。今後、構成学会ならびに関連学会や歯科医師会と連携し、開催を行っていく方針となりますので、各構成学会よりの広報にご注意いただければ幸甚です。

精密触覚機能検査研修協議会

会長：今村 佳樹（日本顔面痛学会理事長）

日本口腔外科学会 代表者

上田 倫弘（北海道がんセンター口腔腫瘍外科）

飯田 征二（岡山大学大学院 顎口腔再建外科学）